



長洲中だより

校訓
創健誠
造康実

第61号
校長(好調)室だより
発行 令和3年2月22日
文責 校長 中山直幸

Myいろいろ弁当!



2/12、My弁当の日の昼食時間に教室を覗くとおいしそうな弁当がたくさん並んでいました。今回は栄養バランスのとれた「いろいろ弁当」がテーマでしたが、ご家庭での様子はいかがでしたか。弁当を自分で作ることで、保護者の方々へ感謝の思いを感じてくれたらと願っています。

卒業式に向けて!

来月の卒業式まで3週間となりました。2/12の夜は母親委員会や3年生の保護者の皆様による卒業生に向けたコサージュ作りが行われました。素敵なコサージュができたようです、お忙しい中ありがとうございました。



コサージュ作りの様子

第2回長洲中を良くする会!

本年度2回目となる「長洲中を良くする会」を2/19に行いました。前回の熟議の中で「あいさつ通り」の設置が提案され、PTAから横断幕まで作っていただきました。中学校と地域がより良い関係でつながる「地域とともにある学校づくり」の第一歩として動き出しています。更にこの活動をどう広げていくか、今回は2年生の生徒会が中心となり積極的な意見が出されていました。今後、あいさつでつながる新たな取組が期待できそうです。



生徒会と地域の方々との熟議

PTA役員引き継ぎ!



新旧役員の引き継ぎの様子

令和3年度のPTA本部役員が下記のとおり書面決済で承認され、2/16には新旧PTA役員の引き継ぎが行われました。

今後のPTA活動の更なる発展を祈念いたします。

令和3年度PTA本部役員

役職	氏名
会長	田中伏美
副会長	木村理恵
〃	大崎聖也
庶務	木村聡美
会計	松浦景子

ものづくり体験!

ものづくりマイスターや熟練技能者の方々によるものづくり体験教室を2/17に行いました。ミニ盆景は竹原二信氏、マグカップ絵付けは、稲岡みどり氏、フラワーアレンジメントは、隈本妙子氏と堀田浩美氏を講師としておいていただき、参加した2年生は、質の高い作品を作ることができ、大満足でした。ものづくりに対しての関心も高まりました。ありがとうございます。

生徒伸ばすツールへ期待

1人1台タブレット

初授業で課題も見える

長洲の小中学校



長洲町はGIGAスクール構想の一環として、町内の小中学校の児童生徒に1人1台のタブレット端末を整備した。1日には長洲中学校で初めて端末を使った授業が行われ、生徒たちは使い方の基礎を学習。実際に授業を行う中で、端末のより良い活用に向けた課題も見えてきた。

タブレット端末を使う生徒たち

有明地域では大川市がすでに端末を使った授業しており大牟田、荒尾、柳川、みやま、筑後市、大木町が2月から各校へ配布開始を予定。南関町が3月ごろから予定している。

長洲町では総事業費約1億2200万円で町立小中学校の児童生徒や教職員用としてタブレット端末1266台を導入し、各校内の無線LAN環境も整備した。端末には有害サイトへのアクセスを防ぐフィルタリング機能や教師によるモニタリング機能も付いており、昨年12月から今年1月までに、教員への使用方法

やトラブル対処法などについての研修も完了。2020年度中には全ての学校・学年で端末を使った授業が始まるという。

長洲中では2年生57人が端末を使った授業を体験。中逸博光町長も授業の様子を見学し、「情報を読み解き活用する力を育て、プログラミングを学んで若い力をまっすぐに生かしてほしい」と生徒たちに呼び掛けた。

生徒たちも端末の授業を楽しみにしていたといい、基本的な使い方や使用上のルールの説明を受けた後、学習用アプリを使い、問題を解いていた。初めて端末を使ったという田成幸樹さん(13)は「難しいところもあったが、インターネットを使って世界の人と話し、他の国の文化などを勉強したい」と話していた。

一方、授業では同時に多数の端末を使ったことにより、一部で通信が遅くなる状態も発生。町教育委員会・学校教育課の担当者は「一



フラワーアレンジメント



ミニ盆景



マグカップへの絵付け

琴の音色響く授業!

音楽の松尾先生による琴を使った研究授業を行いました。初めて琴に触れる1年生は、慣れない手つきで真剣に「さくらさくら」の曲に挑戦していました。徐々に弾き方のコツがつかめたようです。



真剣に琴を弾く生徒

者を使うのは今回が初めて。やってみて分かる課題もある。今後、原因を把握しながら子どもたちが困らないよう対応していきたい」とした。

学校側では教師の端末操作への習熟が必要で、どう活用していくかはまだ手探り状態。同校の中山直幸校長は「自分のベースで基礎や基本の復習ができ、分からないところを小学校まで振り返って勉強することで理解が深まる」と和志を話し、「活用に意欲的な教師もおり今後、使いながらより良い活用方法を見いだしていく。生徒たちを伸ばすツールとして使っていきたい」と期待した。(矢野 大輔)

北部漁協より海苔いただきました!

熊本北部漁業協同組合より長洲町へ、今年一番摘みの焼き海苔4400枚が寄贈され、2/8の給食の時間に海苔をご飯と一緒においしそうに食べる生徒の姿が見られました。毎年、ミネラル豊富な海苔を長洲町の子どもたちのために寄贈していただき、ありがとうございます。



おいしそうに食べる生徒